

# JAPAN Quarterly Update



## 1) 日本政府がウクライナ復興支援として国際金融公社（IFC）の包括的日本信託基金（CJTF）に7百万ドルを新たに拠出



ロシアによるウクライナ侵攻から2年が経過し、ウクライナへの復興支援が重要となる中、2024年2月に開催されたウクライナ経済復興推進会議に際し、日本政府は、ウクライナ支援に向けIFCの日本信託基金(CJTF)へ7百万米ドルの資金拠出を表明しました。IFCは侵

攻以来、農業関連ビジネス、貿易、中小企業などにブレンド・ファイナンスのようなリスク軽減手法を活用しながら、既に10億米ドル以上の融資を行っています。また、エネルギー、運輸、通信、金融機関などの基幹インフラや建設資材などの分野への支援にも注力しており、今後も日本を含むドナーや民間企業との連携を強化してまいります。

## 2) IFCと国際協力銀行（JBIC）が新たな覚書を締結、ウクライナの復興も支援



IFCは、JBICとウクライナを含む共通の活動地域において今後の両機関の協力を強化する旨の覚書を締結することについて合意し、2月14日に天川和彦JBIC副総裁とリッカルド・ブリーティIFC副総裁がバーチャル調印式において覚書に署名しました。

2020年6月の業務協力に向けた覚書の締結以来、飛躍的な発展を遂げてきたJBICとのパートナーシップをさらに発展させるため、本覚書は、従前の共通の活動地域に加

え、復興を目指すウクライナとその周辺諸国において、経済的及び社会的な発展を推進するべく連携する機会を模索するための枠組みともなります。主な注力分野としては、世界的なエネルギー転換と気候変動に重点を置いた持続可能性、より強靱なグローバル・サプライチェーンに貢献するインフラと天然資源産業、イノベーションと先端技術の3分野となります。詳しくは、IFC [プレスリリース](#)をご参照ください。

### 3) IFC と国際協力機構（JICA）がペルーの大手銀 BBVA へ持続可能な建設の促進を目指し、総額 4 億米ドルとなるグリーンファイナンスの融資パッケージで調印



IFC と JICA は、ペルーにおける持続可能な建設およびエネルギー効率化に向けたプロジェクトの促進を目的に、BBVA ペルーに対し総額 4 億米ドルのグリーンファイナンス向けの融資パッケージの提供で合意しました。IFC は 2023 年 6 月に本融資の第一弾として 1 億 5,000 万米ドルを提供しており、今年 3 月 20 日に残る 2 億 5,000 万米ドルの融資契約に調印しました。これには JICA による 1 億 5,000 万米ドルの協調融資が含まれます。BBVA は、IFC と JICA が実施するグリーンファイナンス向け融資パッケージによって、持続可能な建設につながる融資のポートフォリオを同国で強化していきます。本融資パッケージには、IFC によるグリーンビルディングの国際認証制度である IFC の EDGE（エッジ）や米国の LEED（リード）認証の取得に際してのアドバイザー業務や、BBVA の ESG（環境・社会・ガバナンス）のガイドライン策定に向けた支援も含まれます。詳しくは、IFC [プレスリリース](#)をご参照ください。

### 4) 世界の公益事業者が一堂に会し、対話型研修「Water Secure Cities」を日本で開催



世界的に都市化と異常気象が持続可能な水の供給を脅かす中、世界銀行グループの東京開発ラーニングセンター、ウォーター・グローバル・プラクティス、IFC の「公益事業者による気候変動イニシアティブ（Utilities for

Climate Initiatives/U4C)」が共同で、5 日間にわたる対話型研修「Water Secure Cities」を2月末から3月初めにかけて東京と福岡で開催しました。この研修では、インドネシアの PDAM スラバヤなど、U4C の取組みに参加する世界中の公益事業者の代表者が一堂に会し、(1) 水の安定供給を実現する環境を整えるための政策、制度、規制の重要性、(2) 水供給システムの信頼性とレジリエンス向上のためのアプローチや計画ツール及び最善慣行、(3) サービス提供と強靱化に向けた取組みのための革新的なツールと新たなデジタル技術の3つのテーマを中心に、都市における水の安定供給の実現に向けたソリューションについての考察を深め、無収水率が世界で最も低い都市のひとつである福岡市の水処理・管理施設も視察しました。水サービスを担う途上国の公益事業者の気候変動対応策を支援する IFC の U4C プログラムは、日本政府も支援しています。詳しくは、[イベント概要](#)をご参照ください。

---

## 5) 住宅・物流セクターの PPP プロジェクト～カンボジア政府使節団の韓国・日本への視察



カンボジアは、2030 年までに 80 万戸に及ぶ都市の住宅不足の解消と、東南アジアにおける新たな地域ハブとなるべく物流施設の建設を通じた物流の効率化を目指しています。これらの課題に取り組むため、IFC は両セクターの官民連携（PPP）プロジェクトを支援しています。そ

の一環としてカンボジア政府高官が3月に韓国・日本を訪問し、日本では神戸の港湾施設を訪問したり、民間企業や JBIC、JICA などの開発金融機関と両セクターへの投資や民間セクターの参画の促進について議論を交わしました。

---

## 6) 2024年 IMF・世界銀行グループ春季会合、4月15-20日開催



IMF・世界銀行グループの春季会合が、4月15日（月）から20日（土）まで開催されます。今年の春季会合のプログラムは「Vision to Impact」をテーマに、グローバルな開発課題や債務問題、経済復興や気候変動などに関する公開イベントを予定しています。イベント

の詳細及び参加登録は、[春季会合 2024 ホームページ（英語）](#)をご参照ください。一般公開イベントは、こちらの[World Bank Live](#)からもご視聴いただけます。

---

## 7) 途上国における民間投融資のリスク管理に関する IFC-MIGA ビジネスセミナー開催

IFC と多数国間投資保証機関（MIGA）は、途上国における民間投融資のリスク管理をテーマに IFC は現地通貨建て融資、MIGA は今年2月に発表された世界銀行グループの保証業務改革についてご紹介するハイブリッド・セミナーを5月29日（水）午後4:00（日本時間）より開催いたします。IFC は国際機関としての高い信用力を活かし、海外事業のリスクヘッジとして高まる現地通貨建て融資のニーズに応えるべく、50を超える現地通貨建てローンを提供しています。この度のセミナーでは、現地通貨建て融資商品や実際の案件事例を通じて、現地通貨建て融資の最前線をご紹介します。また、現在 MIGA を中心に世銀グループ全体の保証業務の変革に取り組んでいます。この度のセミナー開催に合わせ来日予定の俣野 MIGA 長官より、世界銀行グループ全体での関連業務の集約、プロセスの効率化、アクセシビリティの向上に向けた改革と今後の取組みについてお話をさせていただきます。詳細については、こちらの[イベントページ](#)をご参照ください。

---

## 8) IFC キャリア・ハイブリッドセミナー開催のご案内



海外で活躍する日本人職員の来日に際し、ハイブリッド・キャリアセミナーを開催いたします。来たる5月9日は、ウィーン事務所にてウクライナ支援を担当する中山幸穂（シニア・インベストメント・オフィサー）が、6月12日

(水)には、HR オフィサーの比嘉竜一郎及びラテンアメリカ・カリブ海地域においてインフラを担当する井上雄一郎（シニア・インベストメント・オフィサー）が、現地での仕事内容や職場環境、IFCにおけるキャリアアップなどについてご説明します。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

---

## 9) 日本政府の包括的日本信託基金（CJTF）を通じた様々な支援プロジェクト



### [フィリピンのオープンファイナンスへの支援](#)：

フィリピン中央銀行は、金融包摂を促進するオープンファイナンスの取組みを進めています。日本政府の支援を受け、IFC はアドバイザーとして、オープンファイナンスへの理解と議論を深めるワークショップを開催し、その取組みを後押ししています。

---

## 10) IFC 特集記事

### ◆ [メキシコが描くグリーンビルディングの青写真](#)



押ししています。

メキシコでは、民間による大規模なグリーン住宅開発を通じて、CO2 排出削減とそこで暮らす人々の生活の質の向上に取り組んでいます。低炭素型セメントを使い、省エネ設計されたグリーン住宅は、光熱費を大幅に削減できます。グリーンモーゲージはその普及を後

---

広報・本ニュースレターに関するお問い合わせ・ご意見は、[IFCTokyoNews@ifc.org](mailto:IFCTokyoNews@ifc.org) までご連絡ください。